

はぎなが  
揖斐川町 脛永地区

令和2年度

### 【地域の概要】

- 町の総面積のうち約90%を森林が占める中山間地域
- 耕地面積は1,730ha（田1,370 畑360）で、水田農業を中心に、美濃いび茶の生産が盛ん
- 脛永地区は町南部、池田町に近接する揖斐川・粕川沿いに位置する
- 地区内の農地面積は66.8ha、うち53.6ha（約80%）を担い手である中心経営体3者が耕作している
- 農業委員1名、農地利用最適化推進委員1名が、農地利用の最適化推進活動を行っている



### 取組開始前の状況や課題

#### 【町全体】

○離農や農家の高齢化、担い手の減少により、農地管理の問題が顕著に。

- ①集積・集約済み農地以外の自作農地の遊休農地化
- ②畦畔及び農地境界周辺（道路、水路）の草刈り等適正管理

→①②の管理要望・苦情対応数

R2.10月：約10件

※対応処理時間：数日～数ヶ月／1件  
（地権者や関係者へ管理改善依頼～作業実施）



- 事後対応に係る労力が膨大となるため、遊休農地の発生防止・早期発見が必要
- 地権者・耕作者が農地周辺まで管理してきた慣例に代わる管理方法が必要

### 取組内容

#### 【町全体】

- 管理不十分な農地の確認
  - ・利用状況調査（農地パトロール）
  - ・農業委員会への一般からの通報
 →取組：農業委員会事務局や農業委員が地権者等関係者へ対応依頼。
- 農地管理方法に関する情報共有
  - 取組：
    - ・農業委員会内で、町内外の畦畔等管理方法等を情報共有し、検討開始
    - ・町長部局と情報連携し農地状態改善

#### 【脛永地区】

- 農業委員、最適化推進委員が、日頃から、地区内ほ場を巡回、遊休農地予備軍を発見
  - 取組：
    - ・地権者へ管理意向確認。耕作協力者、保全管理協力者へ管理を取り次ぎ。
    - ・脛永地区内農地の、将来にわたる管理方法について検討開始（今後の展開と方向性へ）

### 今後の展開と方向性

#### 【脛永地区】

○地区内農地の将来にわたる耕作や管理について検討等、取組実施

#### <実施主体>

農業委員・農地利用最適化推進委員

#### <取り組み>

第1段階として、地権者へアンケート

- ・目的  
農地耕作による地区内環境保全
- ・アンケートの主な内容  
将来の農地の耕作や管理の見込み  
農作業への関わり方 など

#### ○今後の取組（予定）

- ・アンケート集計結果をもとに、農地周辺環境の保全や、地域での農業のあり方について検討